

東京都立高等学校 令和7年度(1学年用)教科 国語 科目 現代の国語

教科:国語 科目:現代の国語 単位数:2 単位 対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書:(東京書籍『精選 現代の国語』)

教科 国語の目標:

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 読む「まだ知らない自分に出会う」 【知識及び技能】 ・常用漢字を理解し、文や文章の中で使う。 ・語句や語彙の量を増やし、話や文章の中で使う。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理尾展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 対話のコミュニケーションの意味を理解し、対話による「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合う。	・指導事項 ・対話についての考え方に注意しながら、本文を通読する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・本文の論旨をもとに「まだ知らない自分に出会う」機会について読み取り、まとめる。			○	【知識・技能】 ・常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会に必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで対話がもつコミュニケーションの意味を理解し、対話によって「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合おうとしている。	○	○	○	10
	B 単元 話す・聞く「分かりやすい説明をする」 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を踏まえ、表現や言葉遣いを理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、話の構成や展開を工夫して話す。	・指導事項 ・夏休みをどのように過ごしたかの説明 A.B を比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。 ・「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。 ・自分の学校の行事を説明するという設定で、「リストアップ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。 ・課題の中から一つを選び、これまで学習した点順にしたがって、課題に即したロールプレイを行う。			○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

	C 単元「水の東西」	【知識及び技能】 ・常用漢字を書き、文章の中で使う。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 ・内容を解釈、文章の構成や論理の展開を評価し、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 東西文化の理解を深め、自分の興味や関心を他者に伝える。	・指導事項 ・「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。 ・「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。 ・「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。 ・日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」と「噴水」の水に対するとらえ方の違いを理解する。 水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿ってとらえ、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。 ・「思考への扉」を通読する。 ・日本文化について興味や関心をもったことを、二分間程度でスピーチする。	○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて、文章や図表などに含まれる情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
2 学 期	D 単元「新聞記事をもとに問いを作り意見をまとめる」	【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会で適切な題材を決め、情報を吟味して伝えたいことを明確にする。 ・読み手の理解を得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合う。	・指導事項 ・学習の流れを読み、活動のポイントの見通しをもつ。 ・グループごとに複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。 新聞記事の割り付けを参考に、「記事情報カード」に記入しながら、選んだ記事の内容を整理する。 ・QFT による七段階からなる問づくりの方法を確認するとともに、問いの焦点を定め、問づくりのルールを確認する。 ・グループごとに、記事情報カードをもとに、QFT による問いを作る。 ・問いに優先順位をつけて、最終的に一つに絞り、選ぶ理由をグループ内で話し合う。 ・記事情報カードを活用し、選んだ問いをもとに意見をまとめ、意見文を書く。 ・意見をまとめるという活動をするうえで、QFT の1～6の各プロセスでは適切にこなせたのかを振り返り、グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。	○	【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1
	A 単元 読む「真の自立とは」	【知識及び技能】・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・語句の量を増やすとともに、語句や語彙を理解し語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・二つの意味段落の内容を押さえながら、本文を通読する。 ・現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。 ・筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。 ・「私たちが真の自立を身につけていくことではないでしょうか。」という筆	○	【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて文章や図表などに含まれる情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成	○	○	○	12

[illegible]

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 国語 科目 言語文化

教科: 国語 科目: 言語文化

単位数: 2

単位対象学年組: 第 1 学年 A組

使用教科書: (大修館書店『言語文化』)

教科 国語の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取る。	・一人1台端末の活用 ・歴史的仮名遣いについて ・品詞や文節について ・重要古語について ・辞書の引き方・ノートの作り方	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ・文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。 【思考・判断・表現】 ・本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ・僧が「そら寝」に気付いたか否かについて意見を発表している。 ・笑話としてのおもしろさを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもって意欲的に取り組んでいる。 ・古文に親しもうとしている。 ・登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。	○	○	○	12

[illegible]

	【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的にかかわろうとする。												
	定期考査							○	○	1			
	B 単元 漢文に親しむ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。	・一人1台端末の活用 ・返り点の読み方を理解する。 ・再読文字の含まれた文章を正しい語順で読むことができるようにする。				○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な訓読のきまりを理解し、説明できる。 ・重要語句や句法、漢字の意味を理解ため漢和辞典を活用している。 ・対句的な文章表現とその効果について理解し、説明している。 【思考・判断・表現】 ・それぞれの章の本文の構成を把握し、内容を正しくまとめている。 ・内容に表れた学問、政治に対する考え方を理解し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味を持って意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査							○	○	1			
3 学 期	B 単元 『奥の細道』『旅立ち』『立石寺』 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・一人1台端末の活用 ・内容や作者について文学史的知識をまとめる。 ・旅と人生の関わりが作者をどのようにとらえているかをつかむ。				○	○	○	【知識・技能】 ・古語の意味を正確にとらえ、読解に生かしている。 ・俳文の特徴を理解し、言語を補って現代語訳している。 ・俳諧の歴史的背景について自分で調べ、解釈に生かしている。 【思考・判断・表現】 ・芭蕉が憧れる「古人」の旅について適切に捉えている。 ・芭蕉の「旅」への思いと人生観を「古人」についての知識や理解をもとに正確に読み取れている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・俳諧紀行文の特徴に興味をもち、積極的に音読している。	○	○	○	17

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用)教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史 科目: 地理総合 単位数: 2単位 対象学年組: 第1 学年A組

使用教科書: (帝国書院『高等学校 新地理総合』)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適

切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、

社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基

に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと

ともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対す

る愛情、他国や他国の文化を尊重することのたいせつさについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 地球上の位置と時差 【知識及び技能】 緯度・経度の基本的な仕組みや、緯度経度の違いによる影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 緯度経度の違いによる影響を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 緯度経度の違いによる影響について、よりよい社会の実現のために主体的に追及・解決する。	・地球上の位置は緯度や経度で表すことができる。地球上の位置の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とどのように結び付いているのだろうか。 ・教材:教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 緯度・経度の基本的な仕組みや、緯度経度の違いによる影響を理解している。 【思考・判断・表現】 緯度経度の違いによる影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 緯度経度の違いによる影響について、よりよい社会の実現のために主体的に追及・解決しようとしている。	○	○	○	3
	単元 地図の役割と種類 【知識及び技能】 様々な地図の用法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 球体の地球と平面の地図、さ	・指導事項 私たちの身の回りには、さまざまな地図があふれている。地図や地理情報システムにはどのような役割や種類があるのだろうか。また、私たちの生活にどのように役立つ	【知識・技能】 様々な地図の用法について理解している。 【思考・判断・表現】 球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	5

さまざまな地図投影法(図法)について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	ているのだろうか。 ・教材:教科書・地図帳・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。				
単元 グローバル化する世界 【知識及び技能】グローバル化の要因とその影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】グローバル化の要因とその影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界のグローバル化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など、世界の国々を結び付ける要素には変化がみられる。世界の国々は、これらの要素によってどのように結び付いているのだろうか。 ・教材:教科書・地図帳・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】グローバル化の要因とその影響について、理解している。 【思考・判断・表現】グローバル化の要因とその影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界のグローバル化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1
単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】地球上の地形の成り立ちと、生活に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地球上の地形の成り立ちと、生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地球上の地形の成り立ちと、生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。	・指導事項 地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこの地形とどのように関わり合っているのだろうか。 ・教材:教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】地球上の地形の成り立ちと、生活に与える影響を理解している。 【思考・判断・表現】地球上の地形の成り立ちと、生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地球上の地形の成り立ちと、生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。	○	○	○	6
単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】様々な気候要素が生活に与える影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】様々な気候要素が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】様々な気候要素が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。	・指導事項 気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なる。人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・教材:教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】様々な気候要素が生活に与える影響について、理解している。 【思考・判断・表現】様々な気候要素が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な気候要素が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。	○	○	○	7

	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 世界の言語・宗教と人々の生活 【知識及び技能】 言語や宗教が生活に与える影響について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 言語や宗教が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性など】 言語や宗教が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。	・指導事例 世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。 ・教材：教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 言語や宗教が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 言語や宗教が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語や宗教が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。	○	○	○	7
	単元 歴史的背景と人々の生活 【知識及び技能】 歴史的背景が生活に与える影響について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 歴史的背景が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性など】 歴史的背景が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。	・指導事例 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。 ・教材：教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 歴史的背景が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的背景が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的背景が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	単元 世界の産業と人々の生活 【知識及び技能】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性など】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。	・指導事例 人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化してきたのだろうか。 ・教材：教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球上に見られる様々な課題と取り組みについて理解する。	・指導事例 現代世界には、さまざまな地球的課題が存在する。これらの課題の背景には何があるのだろうか。また、課題の解	【知識・技能】 地球上に見られる様々な課題と取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7

【思考力・判断力・表現力】地球上に見られる様々な課題と取り組みについて、多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性など】地球上に見られる様々な課題と取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。	決に向けて、私たちには何ができるのだろうか。 ・教材：教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用”	地球上に見られる様々な課題と取り組みについて、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地球上に見られる様々な課題と取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。”				
単元 自然環境と防災 【知識及び技能】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性など】③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事例 世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結び付いている。日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。 ・教材：教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
単元生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性など】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実	・指導事例 私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。 ・教材：教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	1
						合計
						70

現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。						
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--

東京都立神津高等学校 令和7年度（1学年用） 教科：地理歴史 科目：歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2単位 対象学年組：第1学年A組

使用教科書：（山川出版社『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』）

教科：地理歴史の目標：

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目：歴史総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	近代化と私たち「産業の近代化」 【知識及び技能】 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的・多面的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究する。	・教科書、自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互国に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的・多面的に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	国民国家と明治維新1 【知識及び技能】 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や刻印統合の動向、日本の明治維新や大認定国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の動向を理解する。	・教科書、自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や刻印統合の動向、日本の明治維新や大認定国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の動向を理解している。	○	○	○	9

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 国民国家の形成や背景・影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追及する。		【思考力、判断力、表現力等】 ・ 国民国家の形成や背景・影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追及している。				
	明治維新と国民国家 2 【知識及び技能】 ・ 列強の進出と植民地の形成、日清戦争・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多角的・多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追及する。	・ 教科書、自作プリント ・ 一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 列強の進出と植民地の形成、日清戦争・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追及している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 ・ ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	・ 教科書、自作プリント ・ 一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○		1
	日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・ 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ ファシズム体制の形成から終	・ 教科書、自作プリント ・ 一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治	○	○	○	10

	戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題として捉え、その解決策を追究する。		体制の変化などに着目し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を歴史的な経緯を踏まえたうえで自分なりの解決策について追究しようとしている。				
	再出発する世界と日本 【知識及び技能】 ・冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているのかについて考察し、解決策を追究する。	・教科書、自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。日本の民主化と、東西冷戦が日本に与えた影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が及ぼした影響などに着目し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、東西陣営の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際秩序の変化や大衆化に関連する現代の課題について考察し、歴史的な経緯を踏まえたうえで自分なりの解決策を追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	多極化する世界 【知識及び技能】 ・1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究する。	・教科書、自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解している。高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が及ぼした影響などに着目し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、東西陣営の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのか考察し、歴史的な経緯を踏まえたうえで自分なりの解決策を追究しようとしている。	○	○	○	8

	グローバル化のなかの世界と日本 【知識及び技能】 ・ 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究する。	・ 教科書、自作プリント ・ 一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解している。高度経済成長に至る経緯を、55 年体制や冷戦に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものと課題を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 冷戦の終結とグローバル化の進展について、学んできたことから自分で主題を設定し、身に付けた知識や教科書、その他の史資料を活用して、課題の解決のために、主体的・計画的に探究学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用)教科 数学 科目 数学 I

教科: 数学 科目: 数学 I 単位数: 3 単位 対象学年組: 第 1 学年 A 組

使用教科書: (数研出版『新編数学 I』)

教科 数学の目標:

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数と式 【知識及び技能】 整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公式などを利用して整式の展開や因数分解を能率よく計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな公式などを利用して、複雑な式を簡単な式に整理できることを理解している。また、式の特徴に着目して複雑な式の因数	1節 式の計算 1. 整式とその加法・減法 2. 整式の乗法 3. 因数分解	【知識・技能】 ・数式に対していろいろな見方をすることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係が分かる。 【思考・判断・表現】 ・乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。 ・見通しを持って式を展開したり、因数分解したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとする。 ・複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを利用しようとする。	○	○	○	14

	分解に取り組もうとしている。						
	実数 【知識及び技能】 実数とその解の意味を理解。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む計算を習熟させ、身近な問題の解決に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、解いてみようとする。また、循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもつ。	1. 実数 2. 根号を含む式の計算	【知識・技能】 ・数を拡張してきた過程を考察することができる。 ・有理数を小数で表すことによって有理数の意味を考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・不等式の性質を理解し、不等式の解の意味や不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解の意味について理解している。 ・絶対値記号のはずし方を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心を持ち、調べようとする。	○	○	○	7
	1 次不等式 【知識及び技能】 不等式とその解の意味を理解。 【思考力、判断力、表現力等】 1 次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数量の関係を不等式で表し、1 次不等式を活用しようとする。 ・具体的な事象の考察に、1 次不等式を活用しようとする。	1. 不等号と不等式 2. 不等式の性質 3. 1 次不等式	【知識・技能】 ・不等式の性質を基にして、1 次不等式の解き方を考察することができる。 ・1 次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・不等式の性質を基にして、1 次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解を数直線上に表すことができる。 ・数量の関係を 1 次不等式で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数量の関係を不等式で表し、1 次不等式を活用しようとする。 ・具体的な事象の考察に、1 次不等式を活用しようとする。 ・絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、解いてみようとする。	○	○	○	9

・絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、解いてみようとする。						
定期考査			○	○	○	1
【知識及び技能】 中学校で学習した平均値・最頻値・中央値・四分位数・箱ひげ図について復習、理解。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりのようすをとらえる概念として、整理し、理解。 【学びに向かう力、人間性等】 データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。	1節 データの整理 1. 度数分布 2. 代表値 3. 四分位数と四分位範囲	【知識・技能】 整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 【思考・判断・表現】 箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。	○	○	○	5
データの整理 【知識及び技能】 データの散らばりのようすをとらえる概念として、分散、標準偏差について理解。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な例を用いて、2つのデータの相関を考察するために、散布図に表すことや相関係数で表すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮説検定の考え方を理解するとともに、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について判断できる。問題の解決や改善を図るた	1. 分散と標準偏差 2. データの相関 3. データの外れ値 4. 仮説検定の考え方	【知識・技能】 整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの変量の相関係数を求めることができる。 ・四分位数から、外れ値になり得る値の範囲を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。	○	○	○	5

	めに、現状のデータの分布を望ましいと考える方向に変えるための条件や改善策を、コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探ろうとする						
	定期考査			○	○	1	
2 学 期	集合と論証 【知識及び技能】 集合の包含関係など、集合に関する基本的な事項を理解。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の包含関係と関連付けて、必要条件、十分条件、必要十分条件、対偶、背理法などを学習することを通して、論理的な思考力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ド・モルガンの法則に気付き、この法則を問題解決に活用しようとする。 ・命題の逆・裏・対偶の関係が条件を満たす集合の関係に対応していることに気付き、これらについて調べようとする。	1. 集合 2. 命題と条件 3. 逆・裏・対偶	【知識・技能】 ・命題 $p \Rightarrow q$ が真であることが、条件を満たす集合の包含関係と対応しているととらえることができる。 ・「かつ」、「または」、「でない」など数学で用いられる論理の言葉が集合の「 $\cup$ 」、「 $\cap$ 」、「 $\neg$ 」と対応していることを考察することができる。 ・結論を否定して推論を始めるという背理法の考え方ができる。 【思考・判断・表現】 ・必要条件、十分条件など数学的な論理に必要な言葉を適切に使って表現することができる。また、対偶を用いて命題を証明することができる。 ・ド・モルガンの法則が成り立つことを確かめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ド・モルガンの法則に気付き、この法則を問題解決に活用しようとする。 ・命題の逆・裏・対偶の関係が条件を満たす集合の関係に対応していることに気付き、これらについて調べようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
		2 次関数 【知識及び技能】 関数とそのグラフについて理解を深め、2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描ける。 【思考力、判断力、表現力等】	1 節 2 次関数とそのグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2 次関数のグラフ 3. 2 次関数の最大・最小	【知識・技能】 ・関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形することができる。 ・2 次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上で、 $y = ax^2$ のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。	○	○	○

2 次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x-p)^2 + q$ に変形する計算に意欲をもって取り組む。 ・関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもつ。	4. 2 次関数の決定	・定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x-p)^2 + q$ に変形する計算に意欲をもって取り組む。 ・関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもつ。				
2 次方程式と 2 次関数 【知識及び技能】 2 次関数のグラフを利用して2次方程式や2次不等式の解について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2 次関数のグラフ、2 次方程式、2 次不等式を関連づけて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。	1. 2 次関数のグラフと 2 次方程式 2. 2 次関数のグラフと 2 次不等式	【知識・技能】 ・$y = ax^2 + bx + c$ のグラフとx軸との共有点のx座標と 2 次方程式や2次不等式の解について考察できる。 ・2 次不等式の解と 2 次関数のグラフとの関係を理解し、2 次不等式の解を 2 次関数のグラフを用いて考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・$y = ax^2 + bx + c$ のグラフとx軸との共有点のx座標は、2 次方程式の実数解であることを理解し、2 次方程式の解の個数や 2 次不等式の解を求めることができる。 ・共有点の個数を $D = b^2 - 4ac$ を計算することにより、その符号で判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1

3 学 期	図形と計量 【知識及び技能】 三角比(正接・正弦・余弦)の概念を導入し、鈍角までの三角比の相互関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 長さに関する身近な問題の解決に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の相互関係に関心をもち、考察しようとする。三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。三角比の相互関係を調べようとする。	1節 三角比 1. 三角比 2. 三角比の性質 3. 三角比の拡張	【知識・技能】 ・座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。 ・具体的な事象について三角比を使って考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。 ・30°、45°、60°の三角比を直角三角形の辺の比から求めることができる。 ・鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角比の相互関係に関心をもち、考察しようとする。 ・鈍角の三角比を考えることに関心をもち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。	○	○	○	11
	三角比と図形と計量 【知識及び技能】 三角比を用いた三角形の面積の公式や正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題が解決できる。 【思考力、判断力、表現力等】 平面や空間における図形の辺の長さや角の大きさおよび正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとする。 ・三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。	1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積 4. 空間図形の計量	【知識・技能】 三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察をすることができる。 【思考・判断・表現】 三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとする。 ・三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。	○	○	○	10

	・面積などを求められる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。正弦定理の図形的意味を考察する。余弦定理の図形的意味を考察する。						
	定期考査						1
							合 計
							105

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用)教科 数学 科目 数学A

教科:数学 科目: 数学A 単位数:2 単位 対象学年組:第 1学年 A組

使用教科書:(数研出版『新編数A』)

教科 数学の目標:

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数学と人間の活動 【知識及び技能】 数量に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解。 【思考力、判断力、表現力等】 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解。 【学びに向かう力、人間性等】 除法の原理と剰余による整数の分類について理解。	1 節 数と人間の活動 1 数の歴史と記数法 2 n 進法 3 約数と倍数 4 最大公約数と最小公倍数	【知識・技能】 ・素数や約数についての考え方や素因数分解を活用して、整数の性質を考察することができる。 ・除法における商と余りを利用して、整数の約数を考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・素因数分解を活用して、約数の個数を求めたり、最大公約数や最小公倍数を求めたりすることができる。 ・互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数と人間の活動のかかわりについて関心を持ち、調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
		5 整数の割り算と商および余り 6 ユークリッドの互除法 7 不定方程式		○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2 学 期	場合の数と確率 【知識及び技能】 順列の意味を理解させ、その総数を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 nPr、階乗、円順列や重複順列について学習し、順列を使った様々な考え方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 組合せの意味を理解させ、その総数を求められるようにする。nCrの意味を理解させ、これを活用できるようにする。	1節 場合の数 1 集合と要素 2 集合の要素の個数 3 場合の数 4 順列 5 組合せ	【知識・技能】 ・順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。 ・積の法則・和の法則が、順列の基本であることを認識できる。 【思考・判断・表現】 ・場合の数の求め方に見通しをもち、場面に応じた式をたてて計算ができる。 ・いろいろな組合せの問題に対し、組合せの記号を用いて表し、その総数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。 ・積の法則・和の法則を理解し、具体的な場合に応用しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	確率 【知識及び技能】 確率の基本的な法則をまとめ、いろいろな事象の確率について理解。 【思考力、判断力、表現力等】 ・いろいろな場確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとする。また、反復試行や条件付き確率の考え方について関心をもつ。 ・起こり得る場合の数を、もれや重複がないように、見通しをもって、能率的に調べようとする。 ・場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。 ・起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげの方法を見だし、考察することができる。 ・期待値を求め、意思決定に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 感覚としての「当たりやすさ」と数学的な確率の違いについて考察しようとする。	1 事象と確率 2 確率の基本性質 3 独立な試行とその確率 4 条件付き確率と乗法定理 5 期待値	【知識・技能】 ・簡単な事象の確率を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。 ・反復試行の確率や条件付き確率の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。 ・起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげの方法を見だし、考察することができる。 ・期待値を求め、意思決定に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとする。	○	○	○	12

	定期考査			○	○		1
3 学 期	図形の性質 【知識及び技能】 外角の場合も含めた角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心などの性質を理解。 【思考力、判断力、表現力等】 外角の場合も含めた角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心などの性質を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形のさまざまな性質について、いろいろな方法で調べようとする。	1節 三角形の性質 1 三角形と線分の比 2 三角形の重心・内心・外心 3 メネラウスの定理とチェバの定理	【知識・技能】 ・三角形の角の二等分線と線分の比の性質について、その証明を通して考察することができる。 ・重心、内心、外心などの存在や性質について、その証明を通して考察することができる。 ・メネラウスの定理、チェバの定理について、その証明を通して考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形について、いろいろな線分の比や長さを求めることができる。 ・重心、内心、外心の性質を用いて、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ・メネラウスの定理、チェバの定理を利用して、線分の比や長さを求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形のさまざまな性質について、いろいろな方法で調べようとする。	○	○	○	13
	作図 【知識及び技能】 作図の基本を基にして、平行線や分点の作図の方法を理解。 【思考力、判断力、表現力等】 単位の長さの線分が与えられたとき、いろいろな長さの線分を作図する方法を理解。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな図形の作図方法について考え、証明しようとする。	1 作図	【知識・技能】 ・それぞれの作図の方法で、目的の図形がかけられる理由を考えることができる。 ・作図の問題を、さまざまな平面図形の性質を用いながら見通しをもって考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・作図の問題を、さまざまな平面図形の性質を用いながら解決し、それが正しいことを証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな図形の作図方法について考えようしたり、証明しようとする。	○	○		3
	空間図形 【知識及び技能】 空間における直線や平面の位置関係について理解。 【思考力、判断力、表現力等】 多面体の性質について理解。 【学びに向かう力、人間性等】 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて解決しようとする。	1 空間における直線と平面 2 多面体	【知識・技能】 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて考察することができる。 ・直線や平面を決定する条件について、考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて処理し、解決することができる。 ・空間図形について、直線や平面の位置関係を答え、2直線や2平	○	○	○	7

	・空間図形について、直線や平面の位置関係やなす角について、進んで調べようとする。		面のなす角を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて解決しようとする。 ・空間図形について、直線や平面の位置関係やなす角について、進んで調べようとする。				
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

教科:理科

科目:化学基礎

単位数:2 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書:第一学習社『高等学校 新化学基礎』

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養う。

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 序章 【知識・技能】 ・化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。 ・物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、科学に対する興味・関心を高め、意欲的に取り組む。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。	指導事項 ・日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、これらの物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。 ・科目の導入として、化学への興味・関心を高める。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。 ・物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、科学に対する興味・関心を高め、意欲的に取り組もうとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	3

	B 物質とその構成要素 【知識及び技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解する。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付ける。 ・粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解する。 ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、知識を身に付ける。 ・原子の電子配置を理解し原子番号 20 番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができるようになる。 ・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できるようになる。 ・粒子の熱運動と温度の関係や、粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係をもとに、温度と物質の状態変化の関係を的確に表現することができるようになる。 ・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を的確に表現することができるようになる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解する。	指導事項 ・身近な物質を取り上げ、混合物から純物質を分離したり精製したりする実験などを行い、実験における基本操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 ・身近な物質を取り上げ、元素を確認する実験などを行い、単体や化合物について理解する。 ・粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。 ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ・元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 教材 教科書、ワーク、授業プリント 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解している。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。 ・粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解している。 ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・原子の電子配置を理解し、原子番号 20 番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができる。 ・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できる。 ・粒子の熱運動と温度の関係や、粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係をもとに、温度と物質の状態変化の関係を的確に表現することができる。 ・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を的確に表現することができる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。	○	○	○	11
--	---	--	--	---	---	---	----

・物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。		・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。				
定期考査			○	○		1
C 化学結合 【知識及び技能】 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付ける。 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付ける。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合についての知識を身に付ける。 ・電気陰性度や結合の極性を理解し、分子の極性についての知識を身に付ける。 ・共有結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付ける。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明できるようになる。 ・分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分子の形をもとに総合的に判断できるようになる。 ・観察・実験を通して、分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、表現できるようになる。 ・金属結晶の性質を金属結合にもとづいて的確に表現できるようになる。	指導事項 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ・共有結合でできた物質の性質を理解する。 ・金属結合は自由電子が介在した結合であることを理解する。 ・金属結合でできた物質の性質を理解する。 教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合についての知識を身に付けている。 ・電気陰性度や結合の極性を理解し、分子の極性についての知識を身に付けている。 ・共有結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明できる。 ・分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分子の形をもとに総合的に判断できる。 ・観察・実験を通して、分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、表現できる。 ・金属結晶の性質を金属結合にもとづいて的確に表現できる。 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。	○	○	○	8

	・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察する。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解する。 ・物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究する。 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。				
2 学 期	D 物質質量と化学反応式 【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解する。 ・物質質量が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質質量と質量、気体の体積との関係も理解する。 ・物質質量を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換する。 ・水溶液の濃度をモル濃度で表し、濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質質量を計算によって求める。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学変化を化学反応式で表す。 ・物質質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できるようになる。	・指導事項 ・粒子の数にもとづく量の表し方である物質質量の概念を導入し、物質質量と質量、物質質量と気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 ・物質質量が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質質量と質量、気体の体積との関係も理解している。 ・物質質量を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。 ・水溶液の濃度をモル濃度で表し、濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質質量を計算によって求めることができる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学変化を化学反応で表すことができる。 ・物質質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。	○	○	○	13

・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察する。 ・化学反応の量的関係の実験から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学変化の量的関係を物質と関連付けて考察する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。		・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 ・化学反応の量的関係の実験から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学変化の量的関係を物質と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。				
定期考査			○	○		1
E 酸・塩基とその反応 【知識・技能】 ・酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができるようになる。 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付ける。 ・中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解する。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求める。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察する。 ・学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結	・指導事項 ・粒子の数にもとづく量の表し方である物質の概念を導入し、物質と質量、物質と気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 ・物質が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質と質量、気体の体積との関係も理解している。 ・物質を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。 ・水溶液の濃度をモル濃度で表し、濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質量を計算によって求めることができる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学変化を化学反応式で用いて表すことができる。 ・物質の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。	○	○	○	12

果にもとづいて総合的に考察する。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究する。 ・酸と塩基の反応の量的関係を物質質量と関連付けて考察する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。		・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 ・化学反応の量的関係の実験から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学変化の量的関係を物質質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。				
定期考査			○	○	○	1
F 酸化還元反応 【知識・技能】 ・酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付ける。 ・酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができるようになる。 ・酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができるようになる。 ・酸化還元反応の量的関係を理解する。 ・金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付ける。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見だし、自らの考えで表現する。	・指導事項 酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。 ・酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。 ・酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。 ・酸化還元反応の量的関係を理解している。 ・金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付けている。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見だし、自らの考えで表現できる。 ・観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに	○	○	○	11

	・観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに事物・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究する。 ・酸化還元反応の量的関係を物質質量と関連付けて考察する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。		事物・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究しようとする。 ・酸化還元反応の量的関係を物質質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。				
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	G 化学が拓く世界 【知識・技能】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのようにいかされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。	・指導事項 「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結びついていることを理解する。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのようにいかされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		合計
							70

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーション I 単位数: 3 単位 対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: (三省堂『My Way English Communication I 』)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【や】	話 【発】	書					
1 学 期	A 単元 Lesson1 Proverbs Around the World 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に活用して、自分の意見や	・一人1台端末の活用 ・世界のことわざについて ・現在進行形 ・SVO	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や	○	○	○	10

確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
A 単元 Lesson2 Iwago Mitsuaki 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いた	・一人1台端末の活用 ・岩合光明氏について ・助動詞 ・受動態 ・助動詞のついた受動態	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いた	○	○	○	10

りして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							コミュニケーションを図ろうとしている。									
定期考査			○				○		○	○	○	1				
C 単元 Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している	・一人1台端末の活用 ・サバ缶について ・動名詞 ・to 不定詞の名詞的用法 ・to 不定詞の副詞的用法 ・to 不定詞の形容詞的用法						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					○	○	○	10	
D 単元 Lesson4 Messages from Winnie-the-Pooh 【知識及び技能】	・一人1台端末の活用 ・プーさんについて ・現在完了形 ・現在完了進行形 ・過去完了形		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーション					○	○	○	10

	○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						オンにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						
	定期考査			○			○		○	○	○	1	
2 学 期	E 単元 Lesson5 Endangered Languages 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】	・一人1台端末の活用 ・世界の言語について ・関係代名詞(主格) ・関係代名詞(目的格) ・関係代名詞 what		○	○	○	○	○		○	○	○	10

○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

F 単元 Lesson6 A Wheelchair Traveler 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・一人1台端末の活用 ・三代達也氏について ・現在分詞の形容詞的用法 ・過去分詞の形容詞的用法 ・分詞構文						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					10
定期考査		○			○			○	○	○	1	
G 単元 Lesson7 The Fugees 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	・一人1台端末の活用 ・The Fugees について ・関係副詞 where ・関係副詞 when ・関係副詞 why ・比較級・最上級						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】					10

【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
H 単元 Lesson8 Avatar Robots 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している	・一人1台端末の活用 ・分身ロボットについて ・条件を表す if 節 ・仮定法過去 ・I wish～ ・as if～	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	10

【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						がら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
I 単元 Lesson9 Kadono Eiko and the Power of Imagination 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・一人1台端末の活用 ・角野栄子氏について ・SV0102 ・SVO + to 不定詞 ・SVOC	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	10

[illegible]

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用)教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科: 外国語 科目: 論理・表現Ⅰ 単位数: 2単位 単位対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: (啓林館『Vision Quest English Logic and Expression』)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 論理・表現Ⅰ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】	書					
1 学 期	A 単元 Lesson1 I want to introduce my new friend. 【知識及び技能】 ○クラブ活動をクラスに紹介することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題に	・一人1台端末の活用 ・自己紹介の表現 ・文の種類	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題	○	○	○	6

について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
A 単元 Lesson2 Do you want to join our show? 【知識及び技能】 ○文化祭についてパートナーと話し合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだ	・一人1台端末の活用 ・学校生活の表現 ・文型と動詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり	○	○	○	6

りしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
定期考査			○			○		○	○	○	1
C 単元 Lesson3 I'm planning a day trip this weekend. 【知識及び技能】 ○旅行の経験をクラスに話すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・一人1台端末の活用 ・旅行・観光の表現 ・時制	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	6
D 単元 Lesson4 Have you ever tried it before? 【知識及び技能】	・一人1台端末の活用 ・趣味・関心のある事柄に関する表現 ・完了形	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーション	○	○	○	6

	○スポーツや音楽の経験をパートナーに話すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							シオンにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。						
								【思考力、判断力、表現力等】	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している				
								【学びに向かう力、人間性等】	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査			○			○				○	○	○	1
2 学 期	E 単元 Lesson5 What do you want to do after high school? 【知識及び技能】 ○パートナーに将来の夢を語るができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	・一人1台端末の活用 ・将来・進路に係る表現 ・助動詞		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。		○	○	○	6
								【思考力、判断力、表現力等】	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。					

○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					
F 単元 Lesson6 Did you hear about the new shop? 【知識及び技能】 ○買い物について質問したり、答えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・日常生活に関する表現 ・受動態		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いて	○	○	○	6

	○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							コミュニケーションを図ろうとしている。				
定期考査			○			○			○	○	○	1
G 単元 Lesson7 I'm happy to have you with us 【知識及び技能】 ○贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している	・一人1台端末の活用 ・交流・交際に関する表現 ・不定詞		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等	○	○	○	6

【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						
H 単元 Lesson8 What sport do you like playing? 【知識及び技能】 ○スポーツをすることの利点について発表することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・一人1台端末の活用 ・スポーツ・健康に関する表現		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している	○	○	○	6

[illegible]

I 単元 Lesson10 That's why I decided to go back 【知識及び技能】 ○日本の文化や日本人たちについて発表することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・一人1台端末の活用 ・文化・異文化理解に関する表現 ・関係詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	9	合計 70
---	--	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	-----------------------------

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅰ 単位数: 2単位 対象学年組: 第1学年 A組

使用教科書: (教育芸術社『高校生の音楽1』)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・歌唱や器楽に関する基礎的な知識・技能が身についている。 ・楽器の奏法や楽想記号、音楽史の基礎的な知識が身についている。	・歌唱や器楽において、楽曲の持つ曲想や詞の表現に対して音楽的なアプローチができる。 ・楽曲の全体像に見通しをもって演奏している。 ・鑑賞した音楽の持つ魅力を、適切に言語化して伝達できる。	・音楽活動に対して主体性をもって授業に臨んでいる。 ・音楽活動に対して積極性をもって授業に臨んでいる。 ・目標に合った創意工夫をもって活動できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 歌唱 Caro mio ben 【知識及び技能】 イタリア語の発音のルールに則って歌唱する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽想記号に着目し、詞の内容に即した表現を工夫して歌唱する 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱活動に対して積極的な姿勢を持つ。	・教科書	○				・イタリア語の発音のルールに則って歌唱できている。 ・楽想記号や詞の内容に即した表現を工夫して歌唱している。 ・歌唱活動に対して積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10
	B 器楽 軽音楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】	・ギター ・ベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身に着いている。 ・楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、演奏に活かすことができている。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10

	楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、演奏に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、バンドの音の調和を意識して合奏に貢献する。						・バンドの音の調和を意識して合奏に貢献している。				
	C 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。	・スピーカー ・一人一台端末					・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識が定着している。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現できている。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。	○	○	○	10
2 学 期	D 器楽 軽音楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、演奏に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、バンドの音の調和を意識して合奏に貢献する。	・ギター ・ベース ・ドラム			○		・選択した楽器の基本的な奏法が身に着いている。 ・楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、演奏に活かすことができている。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。 ・バンドの音の調和を意識して合奏に貢献している。	○	○	○	15

	E 鑑賞 楽曲プレゼンテーション 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識が定着している。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現できている。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。	○	○	○	15
3 学 期	F 歌唱 この道 【知識及び技能】 日本語歌曲特有の発音を知り、発声に活かす。 楽想記号の指示に従って歌唱することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 詞と旋律の関わりを意識し、細かなニュアンスを工夫して歌唱することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱活動に積極的な姿勢を持つ。 詞の表現を味わい、自分なりの解釈を持っている。	・教科書 ・一人一台端末	○			○	・日本語歌曲特有の発音を知り、発声に活かしている。 ・楽想記号の指示に従って歌唱することができる。 ・詞と旋律の関わりを意識し、細かなニュアンスを工夫して歌唱することができる。 ・歌唱活動に積極的な姿勢を持っている。 ・詞の表現を味わい、自分なりの解釈を持っている。	○	○	○	7
	G 鑑賞 【知識及び技能】	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の	○	○	○	3 合 計

	楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。						基本的な知識が定着している。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現できている。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。				70
--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	----

東京都立高等学校 令和7年度（1学年）教科 芸術

科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I

単位数：2単位

対象学年組：第1学年 A組

使用教科書：（日本文教出版『高校生の美術1』）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 彫	デ	映	鑑 賞					
1 学 期	・オリエンテーション A 鉛筆の表現 【知識及び技能】 鉛筆の削り方、面（トーン）の描き方、陰影法による明暗諧調を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】立体表現に適した自分なりの描画方法をみつける。 【学びに向かう力、人間性等】教科書に掲載された素描作品を美しいと思う感性を育む。	・指導事項 鉛筆を使いこなす。 ・教材 鉛筆（基本的に2Bを使用）。 カッター、折り紙削りかす入れ、練り消しゴム、ワークシート等。	○				【知識・技能】安全な鉛筆の削り方、鉛筆22種類の特長、またなめらかで均等な面が描くことができるか。 【思考・判断・表現】鉛筆の方向を均等に制御できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】鉛筆のトーンが美しく描かれているか。	○	○	○	4
	B 立方体の影を描く 【知識及び技能】光の方向から類推して立方体の影を描く。 【思考力、判断力、表現力等】もっとも明るい部分のとり方はもっとも暗い。 【学びに向かう力、人間性等】物理的な光の効果と見た目の誤差に気づく。	・指導事項 影を理解すれば立体が描ける。 ・教材 鉛筆（基本的に2Bを使用）。 カッター、折り紙削りかす入れ、練り消しゴム、ワークシート等。		○			【知識・技能】観察を続けると集中力が身につく。細部への関心。 【思考・判断・表現】立体的に見えるのは光と影の組み合わせによるもの。 【主体的に学習に取り組む態度】影のなかに机との反射を見つけることができた1台端末の活用等。	○	○	○	4
	C 鉛筆デッサン（椅子／石膏像） 【知識及び技能】椅子の構造性を理解し平面に再構成する。 【思考・判断・表現】遠近法の基本的な約束事を理解し作品に援用する。 【学びに向かう力、人間性等】独自の視点で個性的なデッサンを目指す。	・指導事項 デッサンは構図で決まる。 ・教材 鉛筆（基本的に2Bを使用）カッター、折り紙削りかす入れ、練り消しゴム、デッサン・スケール、A4白紙／八つ切り画用紙。	○				【知識・技能】デッサン・スケールを活用して思い通りの構図をつくれたか。 【思考・判断・表現】立体的に見えるのは光と影の組み合わせによるもの。 【主体的に学習に取り組む態度】影のなかに机との反射を見つけることができた。	○	○	○	8
	D 植物画の制作 【知識及び技能】植物を観察し、花、葉、茎の特徴をとらえて描写する。	・指導事項 学校の下に広がる海岸の周辺に繁殖する植物を採集し標本にして観察、名前を特定した後に描写する。 ・教材	○			○	【知識・技能】構図や視覚的な効果を考慮することができたか。 【思考・判断・表現】植物の特徴を観察によって十分に引き出すことができたか。	○	○	○	10

	【思考力、判断力、表現力等】植物の形状、質感、色彩から造形的要素を抽出し作品に還元する。 【学びに向かう力、人間性等】植物の美しさを感じ、鑑賞する力を育む。	色鉛筆、2B 鉛筆、ドローイングペン、ハツ切り画用紙、各種植物図鑑。				【主体的に学習に取り組む態度】それぞれの作品の表現意図を汲み取り共感することができたか。				
2 学 期	E 文化祭(黒潮祭)のポスター制作 【知識及び技能】ポスターに関するビジュアル資料を検討しアイデアをまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】文字の書体、大きさ、配色を考え、絵柄と組み合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】何を伝えるのか。しっかりしたコンセプトをつくる。	・指導事項 だれが見るのかを完成までいつも忘れずに意識する。 鉛筆、メモ用紙、色鉛筆、水彩絵の具、アクリルガッシュ、ケント紙、図書資料。	○		○	【知識及び技能】タイポグラフィ、イラスト、全体構成(とくに色彩計画)はまとまったか。 【思考力、判断力、表現力等】アイデアスケッチから完成まで一貫した制作意図を維持したか。 【主体的に学習に取り組む態度】このポスターがどこに貼られ、どのような人が見ることを想定していたか。	○	○	○	16
	F 透明水彩で「魚」を描く 【知識及び技能】魚を観察し、頭、胴、ヒレの特徴をとらえて描写する。 【思考力、判断力、表現力等】魚の形状、質感、色彩から造形的要素を抽出し作品に還元する。 【学びに向かう力、人間性等】植物の美しさを感じ、鑑賞する力を育む。	・指導事項 学校の下に広がる海岸の周辺に生息する魚を採集し標本にして観察、名前を特定した後に描写する。 ・教材 色鉛筆、2B 鉛筆、ドローイングペン、ハツ切り画用紙、各種植物図鑑。	○			【知識・技能】構図や視覚的な効果を考慮することができたか。 【思考・判断・表現】魚の特徴を観察によって十分に引き出すことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】それぞれの作品の表現意図を汲み取り共感することができたか。	○	○	○	8
	G パッケージデザイン 【知識及び技能】形や色彩、質感などの効果、全体のイメージ等を把握し、材料の特性を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】目的や条件、美しさや入れるもののイメージを基に、プレゼントを渡す相手を意識したデザインを目指す。 【学びに向かう力、人間性等】パッケージをデザインする創造活動に主体的に取り組む。	・指導事項 10 cm立方の箱の5面を彩色 プレゼント用のパッケージを制作する。 ・教材 アクリルガッシュ ワークシート。 ・アイデアスケッチを繰り返して十分に構想を練る。	○			【知識・技能】意図に応じて表現方法を創意工夫し総合的に考えながら材料の特性を生かしたか。 【思考・判断・表現】プレゼントを誰に渡すのか相手が喜んでくれるにはどのようなデザインにしたらよいか 想像力を働かせて制作することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】完成時にプレゼンテーションを行い、他の人の前で自作について説明する。	○	○	○	6
3 学 期	H わたしの部屋(1点透視図法) 【知識及び技能】導入で1点2点3点透視図の作図演習を行う。 【思考力、判断力、表現力等】遠近法の概念を理解しさまざまな空間表現に応用できるか。 【学びに向かう力、人間性等】複数のメディアで遠近法がどのように活用されているかを学ぶ。	・指導事項 遠近法演習 上から見た1点透視図法のワークシートに家具や調度を書き込み想像上の自分の部屋を完成させる。 ・教材 ワークシート、定規、コンパス、色鉛筆24色。	○		○	【知識及び技能】遠近法を理解し空間表現に生かすことができたか。 【思考力、判断力、表現力等】家具、インテリアにデザインにも配慮し全体的な統一感がみられる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の部屋に対し自律的な独立性をもって空間表現の完成度が高い。	○	○	○	6
	I 名画の模写 【知識及び技能】教科書の掲載作品から選択し、作者、主題、制作の時代背景、技法について調べる。 【思考力、判断力、表現力等】なぜこの作品を描いたのか。作者の制	・指導事項 教科書の掲載図版を参照し再現描写する 教材 選択した作品に応じて描画材料を選ぶ。 油彩画、版画、写真→アクリルガッシュ 水彩画→水彩画。	○		○	【知識及び技能】主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力、判断力、表現力等】自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができる。	○	○	○	8

作意図に肉薄し感情移入して作品世界を再構築する。 【学びに向かう力、人間性等】作品を十分に鑑賞したうえで選定させる。				【主体的に学習に取り組む態度】積極的な理由によって作品を選択したか。				合計 70
--	--	--	--	---	--	--	--	---------------------

東京都立高等学校 令和7年度(1学年用)教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 3 単位 対象学年組: 第 1 学年 A 組

使用教科書: (『現代高等保健体育』大修館書店)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢	・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解している。 ・体の構造や運動の原則を理解し、健康の保持増進や体力の向上を目指した計画を立て取り組むことができる。 ・自分や仲間の心と体は互いに影響し合いながら変化することに気付くことができる。 ・日常生活を振り返り、ねらいに応じて運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・課題に応じた強度や時間、回数、頻度を設定し、課題を解決するための運動計画を立てている。 ・体力や体調に応じた運動の計画等について振り返るとともに、仲間に提案している。 ・仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えている。	○	○	○	10

献しようとする事などや、健康・安全を確保できるようにする。		・体力の程度や性別のなどの違いに配慮し、仲間とともに楽しむ活動方法や修正方法を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・運動開始時の心や体の状態を確認するなど、健康・安全に留意して活動に取り組もうとしている。 ・一人ひとりの違いを受け入れ認め、互いに助け合い教え合いながら活動に取り組もうとしている。				
B ソフトボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ソフトボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違い	・キャッチボール ・ピッチング練習 ・バッティング練習 ・連携した守備練習 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・ソフトボールの技術の名称やそれぞれの動きのポイント、特性や戦術について、言ったり書き出したりしている。 ・安定したバット操作、状況に応じた走塁、打者や走者の位置に応じた守備でゲームを行うことができる。 ・自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるということを理解している。 ・ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。 ・作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分の考えを仲間に伝えている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13

いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保できるようにする。		・分担した役割に自主的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・危険を理解して安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをしようとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え助言することで、信頼関係を深め、互いに高め合おうとしている。				
C 水泳 【知識及び技能】 クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、	・クロール ・平泳ぎ ・複数の方法で長く泳ぐ ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解している。 ・自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるということを理解している。 ・種目ごとに必要な体力要素があり、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解している。 ・競技のルール、運営の仕方など、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てたりしている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。 ・技術的な課題や解決に有効な練習方法について、自分の考えを仲間に伝えている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための適切な練習方法等を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の役割に主体的に取り組み、練習や仲間との話し合いに積極的に参加しようとしている。	○	○	○	13

	ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。		・危険を理解して実施するとともに、仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え、助言することで信頼関係を深め、互いに高め合おうとしている。				
	D 体育理論 【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・スポーツの歴史と発展について、学習したことを言ったり、書き出したりしている。 ・わが国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・習得した知識をもとに持続可能なスポーツの発展のための課題解決に向けて、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。	○	○	○	2
2 学 期	E バスケットボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	・ドリブルやパス、シュートなどのボール操作 ・攻撃や守備における空間を作り出す動き ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ・安定したボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出し埋める動きなどをゲームで行うことができる。 ・動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すこと				

	安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしよう、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		で技能や体力を高めることができることを理解している。 ・ゲームのルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分やチームの課題を見つけ、知識や技能を活用して練習方法を選択したり、練習計画を立てたりしている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。 ・チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加している。 ・危険を理解して実施するとともに、仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うとしている。	○	○	○	13
F ハンドボール	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲーム	・プッシュパス ・ショルダーパス ・ラテラルパス ・シュート練習 ・ジャンプシュート	【知識・技能】 ・ハンドボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ・役割に応じたボール操作や状況に応じたボール操作をゲームでおこなうことができる。 ・連携して空いた場所を攻撃したり、カバーしたりする動き				

を展開することができるようにする。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハンドボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		をゲームでおこなうことができる。 ・動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解できる。 ・ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫している。 ・作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分の考えを仲間に伝えている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・危険を理解して安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをしようとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うとしている。	○	○	○	13
F ダンス 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの	・基本的なステップ ・課題のダンス ・グループでの創作 ・発表会	【知識・技能】 ・ダンスで用いられる即興や作品制作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語を理解している。				

名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をできるようにする。リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	一人1台端末の活用	・ダンスの特徴や文化的な背景、表現の仕方を理解している。 ・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ることができる。 ・変化とまとまりをつけて、仲間と対応して踊ることができる。 【思考・判断・表現】 ・学習した知識や技能を表現や作品創作に適用したり、応用したりしている。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを言葉や体の動きで他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主体的に取り組み、役割を積極的に引き受け、グループ活動に貢献しようとしている。 ・互いの踊りや表現を認め合い、課題を指摘し合ったり教え合ったりして互いに共感し高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にすること、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	13
G バレーボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 役割に応じたボール操作や安定した用具	・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ゲーム 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ・役割に応じたボール操作や状況に応じたボール操作をゲームでおこなうことができる。 ・連携して空いた場所を攻撃したり、カバーしたりする動きをゲームでおこなうことができる。				

の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		・動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解できる。 ・ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫している。 ・作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分の考えを仲間に伝えている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・危険を理解して安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをしようとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え、助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うとしている。	○	○	○	13
H 体育理論 【知識】 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、現代のスポーツ	・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果 ・一人1台端末の活用	【知識】 ・オリンピック・パラリンピックの意義について、学習したことを言ったり、書き出したりしている。 ・現代のスポーツには、スポーツ産業による波及的な経済的効果があり、経済活動に大				

	は、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること、また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 オリンピックやパラリンピックの意義やスポーツの経済効果について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 オリンピックやパラリンピックの意義やスポーツの経済効果についての学習に自主的に取り組むことができる。		きな影響を及ぼしていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・習得した知識をもとに課題解決に向けて、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・オリンピックやパラリンピックの意義やスポーツの経済効果についての学習に自主的に取り組んでいる。	○	○	○	2
3 学 期	I バドミントン 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向	・ドライブ ・ドロップ ・ロビング ・クリアー ・ヘアピン ・スマッシュ ・サーブ ・ゲーム (シングルス・ダブルス) ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ・打ち込まれたシャトルに対応して、安定したラケット操作でコースや球種を使い分けてゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができた。 ・動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解している。 ・ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	12

けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		・学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。 ・作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分(ペア)の考えを仲間に伝えている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、仲間との話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・危険を理解して安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームを行おうとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うとしている。				
Ｊ卓球 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	・フォア ・バック ・サービス ・ゲーム (シングルス・ダブルス) ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ・打ち込まれたボールの変化(球速、回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができる。 ・自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるということを理解している。	○	○	○	12

【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 卓球に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		・ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てている。 ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。 ・作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分(ペア)の考えを仲間に伝えている。 ・体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、仲間との話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・危険を理解して安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームを行おうとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うとしている。				
---	--	---	--	--	--	--

K 体育理論 【知識】 ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解できるようにする。 スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの高潔さや環境について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの高潔さ環境についての学習に自主的に取り組むことができる。	・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境 ・一人1台端末の活用	【知識】 ・ドーピングはフェアプレイの精神に反する不正な行為であり、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを理解している。 ・スポーツに関わる人々の増加は、人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの高潔さやスポーツが環境や社会にもたらす影響について、習得した知識をもとに持続可能なスポーツの発展のための課題解決に向けて、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの高潔さやスポーツが環境や社会にもたらす影響についての学習に自主的に取り組んでいる。	○	○	○	2
						合計
						105

東京都立高等学校 令和7年度(1学年用)教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位 対象学年組: 第 1 学年 A組

使用教科書:『現代高等保健体育 大修館書店』

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解できるようにする。 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解できるようにする。 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	11

法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。		・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
定期考査			○	○		1

2 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりがやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要で	○	○	○	11
-------------	---	---	---	---	---	---	----

		あることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。				
--	--	--	--	--	--	--

			・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	定期考査			○	○		1
3 学 期	B 安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備に関わるこ	・事故の現状と発生要因 ・安全な社旗の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	【知識・技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				

と、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解できるようにする。 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。 心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。		・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	10
---	--	---	---	---	---	----

		・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
定期考査			○	○	○	1
						合計
						35

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科: 情報 科目: 情報Ⅰ 単位数: 2単位 対象学年組: 第1学年 A 組

使用教科書: (実教出版『図説情報Ⅰ』)

教科 情報の目標:

【知識及び技能】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】情報に関する科学的な見方・考え方を養い、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともにコミュニケーションを行う能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】変化する社会で情報と情報技術を活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任などについて、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	オリエンテーション	・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習を行うことで、必要な操作を習得する。 ・コンピュータ教室でのマナーを理解する。		○		○	2
	序章 情報社会と私たち 1 情報と情報社会の特徴	・情報や知識、IoT、人工知能(AI)について学ぶ。 ・情報の特徴(残存性、複製性、伝播性)について学ぶ。	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができる。 ・IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解している。 ・情報の特徴(残存性、複製性、伝搬性)について、意味を理解している。	○	○		2
	2 情報化の進展と情報技術	・情報化による利便性(情報化の「光」)と危険性(情報化の「影」)について学ぶ。	・情報化の光と影について理解したうえで、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。	○	○		1

		・SNS, GPS, 位置情報システムの機能や特徴を理解している。 ・位置情報サービスなど各種サービスの光と影を理解した上で、適切な活用ができる技能を身に付けている。				
3 情報社会における個人の責任 【学びに向かう力、人間性等】	・匿名の特徴, ネットワーク上のルールとマナーについて学ぶ。 ・情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。	・情報の信憑性, 信頼性の意味を理解している。 ・匿名の意味を理解し, 匿名による特徴について考え, 適切な判断することができる。 ・情報の発信・受信において, 発信者や受信者として注意すべき点について考え, 自ら責任をもって行動している。 ・情報社会における様々な問題点を理解したうえで, 情報モラルについて考え, 自らの行動を振り返り, 改善しようとしている。	○	○	○	1
1章 情報社会と問題解決 1節 問題解決 1. 問題解決の手順	・問題解決の意味を理解し, 問題解決の流れについて学ぶ。 ・学校の食堂の活性化など具体的な例を元に, 問題の明確化(問題の構成要素の把握, 制約条件の整理など)について学ぶ。	・問題や問題解決の意味, 問題解決の基本的な手順について理解している。 ・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解している。 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など, 問題の明確化について理解している。	○			1
2. 情報の収集と整理	・情報収集のための手法(ブレインストーミング, 検索エンジンの利用, ファイルドワーク)について学ぶ。 ・収集した情報を整理する方法(KJ法やコンセプトマップなど)について学ぶ。	・検索エンジンを利用し, さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 ・適切な情報収集方法を選択し, 幅広い観点から情報を収集できる。 ・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレインストーミングなどの議論)に, 積極的に参画している。 ・問題解決の身近な事例に対し, 問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い, 目標の設定を考えて表で表現することができる。	○	○	○	1
3. 情報の分析	・表計算ソフトウェアなどによるデータの数値化などの方法について学ぶ。	・表計算ソフトウェアを活用し, 統計処理などを行い, 伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付けている。	○	○	○	1

	・数値化した情報を視覚的に表現する方法について学ぶ。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について学ぶ。	・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。				
2節 情報社会における法規と制度 1. 情報の管理と保護	・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権、肖像権、パブリシティ権)について学ぶ。 ・個人情報の漏洩について学ぶ。	・個人情報やプライバシーの概念を理解し、個人情報の保護や管理について理解している。 ・プライバシー権、肖像権、パブリシティ権について理解している。 ・情報社会で起こっている個人情報に関連する権利侵害の例について説明することができる。 ・自他のプライバシーや肖像権などを尊重する態度をもって取り組んでいる ・個人情報の漏洩の例について説明することができる。 ・個人情報の流出を防ぎ、自らの個人情報を適切に管理することができる。 ・個人情報の重要性を認識し、個人情報の管理について、自らも注意して取り組んでいる。	○	○	○	1
2. 知的財産権と産業財産権	・知的財産権の概念(知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成)について学ぶ。 ・財産権の概要、産業財産権の構成などについて学ぶ。	・知的財産権の概要について理解し、経済や文化の発展との関係を理解している。 ・知的財産権の問題に関し、自ら Web サイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいる。	○		○	1

3. 著作権	・著作権(著作権(財産権), 著作者人格権)について学ぶ。 ・著作物の利用, 著作権の侵害について学ぶ。	・著作者の権利と伝達者の権利についての法規やルールについて理解している ・著作物の利用や著作権法の権利制限規定について理解している ・著作物の利用の流れを理解し, 著作物を適切に利用する方法を身に付けている。 ・著作権法の権利制限規定の意義について考え, 討議することができる。 ・著作物の利用に関し, 著作権を侵害しないように取り組んでいる。 ・自らや学校での活動に対し, 著作権侵害をしないよう活動を計画することができる。	○	○	○	2
3節 情報セキュリティと個人が行う対策 1. 認証とパスワード	・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について学ぶ。 ・安全性の高いパスワードとその管理について学ぶ。	・個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。 ・具体的な例について, その認証方法の特徴について説明できる ・大切な情報を守るための認証の利用など, 情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。 ・安全性の高いパスワードを設定する方法を身に付けている。 ・パスワードの設定について考え, 適切に判断し管理することができる。 「特定されづらいパスワード設定」の実習において, 情報のセキュリティを高めようと, 粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	1
2. 情報の暗号化	・暗号の必要性和基本的な仕組みについて学ぶ。 ・簡単な暗号の例(シーザー暗号)について学ぶ。 ・ネットワーク上での暗号化通信や無線 LAN	・暗号化の手順や暗号化通信の必要性について理解している。 ・具体的な事例で暗号化の手順について説明することができる。 ・無線 LAN の暗号化方式について理解し, 暗号化対策を行い適切に管理することができる。	○	○	○	1

	での暗号化対策について学ぶ。	・暗号化通信に対する理解のもとに、安全な情報の送信・受信に取り組んでいる。 ・大切な情報を守るための暗号の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。				
3. コンピュータウイルスと対策	・コンピュータウイルスなどマルウェアの概要と対策について学ぶ。	・コンピュータウイルスなどマルウェアの特徴や対策について理解している。 ・コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について、適切に判断し対応することができる。 ・マルウェアなどの被害に遭わないような対策を行い、リスク軽減に取り組んでいる。1	○	○	○	1
2章 コミュニケーションと情報デザイン 1節 メディア 1. メディアの機能と特性	・メディアの機能と特性について学ぶ ・メディアの分類や情報メディア、表現メディア、伝達メディアの特性について学ぶ。	・さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 ・メディアの発達の歴史の概要について理解している。 ・文字、音声、図表、静止画・動画の各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性を理解している。	○			0.5
2. メディアリテラシー	・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について学ぶ。 ・信憑性の高い情報を手にするための方法について学ぶ。 ・さまざまな情報メディアの特徴について学ぶ。	・メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。 ・適切な表現メディアや伝達メディアを選択し、伝達したい情報を効果的に表現することができる。 ・収集した情報を、別のメディアと比較するなどし、正しい情報かどうかを判断することができる。 ・情報メディアや表現メディアを活用し、主体的に情報発信することができる。 ・情報を発信する際、信憑性の高い情報となるよう、情報発信を意識して行っている。	○	○	○	0.5

		・メディアから提供された情報を主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。 ・さまざまな情報メディアの特徴について理解している。 ・情報メディアの違いを理解して適切に情報の収集を行うことができる。				
2節 コミュニケーション 1. 効果的なコミュニケーション	・コミュニケーションの定義, 手段, 形態について学ぶ。 ・コミュニケーションの歴史について学ぶ。	・コミュニケーションにおける, 発信者と受信者の人数, 位置関係, 同期性による分類を理解している。 ・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。	○			1
2. インターネット上のコミュニケーション	・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について学ぶ。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット(即時性, 利便性, 保存性, 匿名)について学ぶ。	・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解している。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え, コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて, 対面の場合と比較し, 気を付けるべき点について説明することができる。 ・インターネット上のコミュニケーションに対して, コミュニケーション手段の特性を考え, トラブルが起こらないような態度で取り組んでいる。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて, 自からの行動を振り返り, 改善しようとしている。	○	○	○	1
3節 情報デザインと表現の工夫 1. 情報デザインの考え方	・デザインの基本, 色彩, ユニバーサルデザイン, アクセシビリティについて学ぶ。	・ユニバーサルデザイン, アクセシビリティの意味や目的について理解している。 ・ユニバーサルデザインについて, 身近な例をあげて説明することができる。 ・ユニバーサルデザイン, アクセシビリティに興味・関心を持ち, 情報を発信する際に, それらのことに注意して取り組んでいる。	○	○	○	1

2. 表現の工夫	・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫について学ぶ。	・情報をわかりやすく伝達するために、文字、色や配色、図やイラストなどの基本的な表現方法を理解している。 ・情報伝達の目的や対象を考え、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学習活動を行い、自ら改善しようとしている。	○	○	○	1
4節 コンテンツの制作 1. コンテンツ設計	・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。 ・コンテンツの論理展開の方法について学ぶ。	・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。 ・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付けている。 ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 ・文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付けている。 ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察することができる。 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するために、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	1
2. スライドの制作と発表	・スライド制作と見やすくするための工夫について学ぶ。 ・発表の方法と、評価方法について学ぶ。	・見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 ・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価		○	○	4

			を行い、フィードバックを行って改善しようとしている。				
3 章 情報とコンピュータ 1 節 情報の表し方 1. デジタル表現の特徴	・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴（情報の正確な再現・情報の加工の容易さなど）について学ぶ。	・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 ・アナログデータとデジタルデータを比較し、その違いについて説明することができる。 ・情報のデジタル化について、興味・関心をもって、より深く理解しようとしている。	○	○	○	1	
2. 2 進数と情報量	・情報量、ビット、バイト、2 進法、2 進数について学ぶ。	・2 進数、情報量およびその単位について理解している。 ・ビット数と情報量の関係について説明することができる。 ・適切な情報量の単位で表現することができる。 ・2 進数や情報量について、具体的な例に関連付け、より深く理解しようとしている。	○	○	○	2	
2 学期 2 節 コンピュータでのデジタル表現 1. 数値の表現	・コンピュータ内部での数値（2 進数、16 進数）の表現について学ぶ。	・コンピュータ内部の数値表現方法である 2 進数から、10 進数や 16 進数へ相互に変換する方法を理解している。 ・2 進数の簡単な加算と減算について理解している。 ・2 進数、10 進数、16 進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる。	○	○		1	
2. 文字のデジタル表現	・コンピュータにおける文字コード、文字のデジタル表現について学ぶ。	・コンピュータにおける文字表現である文字コードの特徴について理解している。 ・文字化けが発生する理由について、事例をあげて説明することができる。 ・文字のデジタル表現について、興味・関心をもって取り組んでいる。	○	○	○	1	
3. 音の表現	・音のデジタル化、周波数（ヘルツ）、標本化・量子化・符号化、標本化周期や標本化周波数について学ぶ。	・音やデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。 ・アナログの音をデジタル化する場合の、標本周期や標本周波数について、音質とデータ量	○	○	○	2	

		の大きさを関連付けて説明することができる。 ・音のデジタル表現について、興味・関心をもって取り組んでいる。				
4. 画像の表現	・画像のデジタル化, カラー画像の仕組み, 標本化, 量子化, 符号化, 光の三原色, 解像度, 階調について学ぶ。	・画像のデジタル化(標本化, 量子化, 符号化)の仕組みについて理解している。 ・カラー画像の表現, 光の三原色, 色の三原色について理解している。 ・画像の解像度や階調を用いて, 画像の鮮明さについて説明することができる。 ・画像のデジタル表現について, 興味・関心をもって取り組んでいる。	○	○	○	2
5. 動画の表現とファイル形式	・動画の仕組みや動画圧縮の仕組みについて学ぶ。 ・ファイルの種類(音・画像・動画)について学ぶ。	・動画の表現方法とデータの圧縮方法について理解している ・プレゼンテーションソフトウェアなどを利用して簡単なアニメーション作品を作成し, その作品を動画ファイルにすることができる。 ・音声, 画像, 動画のデータ量の計算について, 関心・意欲をもって積極的に取り組み, 理解しようとしている。 ・音声, 画像, 動画の主なファイルについて, データ圧縮との関連も含めて, その特徴や内容を説明することができる。	○	○	○	1
3節 情報機器とコンピュータ 1. さまざまな情報機器	・身のまわりの情報機器や組み込み機器の事例について学ぶ。	・身のまわりの多くの家電製品には, コンピュータが内蔵されていることを理解している。 ・生活のさまざまな場面で活用されている情報機器の例をあげて説明することができる。 ・生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について, 興味・関心をもって取り組んでいる。	○	○	○	1
2. ハードウェアとソフトウェア	・ハードウェアとソフトウェアの違い, コンピュータ本体の働き, OS とア	・ハードウェア, それを動かすソフトウェア, さらに, OS とアプリケーションソフトウェアの関係を理解している。	○	○	○	1

	アプリケーションソフトの 関係について学ぶ。	・コンピュータ本体の動きやCPUの動作と演算の仕組みについて、その概要を説明することができる。 ・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組んでいる。				
4章 アルゴリズムとプログラミング 1節 アルゴリズムと基本構造 1. アルゴリズム	・アルゴリズムの基本やフローチャート(流れ図)について学ぶ。	・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 ・アルゴリズムの図的表現の一つであるフローチャートの記号および描き方を理解している。 ・アルゴリズムを文章(箇条書き)やフローチャートなどの図で作成することができる。 ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明することができる。 ・作成したアルゴリズム文章(箇条書き)やフローチャートが正しいかどうか検討することができる。 ・プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味・関心をもって取り組んでいる。 ・問題解決のためのアルゴリズムの学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	1
2. アルゴリズムの基本構造	・アルゴリズムの基本構造(順次, 選択, 繰り返し), プログラムの構造について学ぶ。	・アルゴリズムの基本構造(順次構造, 選択構造, 繰り返し構造)を理解している。 ・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成することができる。 ・アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考えることができる。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか, わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え, 繰り返し取り組んでいる。	○	○	○	2
2節 プログラミングの基礎 1. 簡単なプログラムの作成	・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を学ぶ。	・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。	○	○	○	2

		・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成することができる。 ・作成したプログラムが正しいかどうかを考察することができる。 ・プログラミング言語に興味をもち、プログラムの作成に積極的に取り組んでいる。 ・プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。				
2. プログラムと変数	・プログラムにおける変数の役割について学ぶ。	・プログラムにおける変数の役割について理解している。 ・変数を使った順次構造や繰り返し構造のプログラムを作成することができる。 ・作成したプログラムが正しいかどうかを考察し、修正することができる。 ・変数の利用により、効率のよいプログラムを考え、作成することができる。 ・プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。	○	○	○	2
3節 プログラムの応用 1. 配列とリスト	・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る方法について学ぶ。	・配列やリストによる処理について理解している。 ・配列などを使った簡単なプログラムを作成することができる。 ・配列やリストの利用により、効率のよいプログラムを考え、作成することができる。 ・効率的なプログラムの作成のため、繰り返し粘り強くプログラムの改善に取り組もうとしている。	○	○	○	2
2. 関数	・関数を使って、より複雑なプログラムを作る方法について学ぶ。	・関数の概念、関数の種類や定義について理解している。 ・関数を利用した簡単なプログラムを作成することができる。	○	○	○	2

		・探索や並べ替えのアルゴリズムの概念を理解している。 ・並べ替え(バブルソート)のアルゴリズムについて考え、配列を使ってプログラムを作成することができる。 ・関数を使って、グラフ表示を行うプログラムやじゃんけんゲームのプログラムを作成することができる。 ・探索(線形探索、二分探索)のアルゴリズムの効率について、考えることができる。 ・問題解決のためにアルゴリズムを考え、効率的なプログラムを粘り強く作成しようとしている。 ・例題や「並べ替え」、「じゃんけんゲーム」など作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組んでいる。				
5 章モデル化とデータの活用 1 節 モデル化 1.モデル化の基礎	・モデル化の手順や分類について学ぶ。	・モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。 ・モデルの分類(表現形式による分類、対象による分類)に関し、身のまわりの具体的な事例で説明することができる。 ・モデル化について興味・関心を持ち、身のまわりのモデルについて分類するなど、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
2. モデル化(図的モデル)	・図的モデルの表現方法、簡単な自動販売機の動作をモデル化する方法を学ぶ。	・図的モデルのさまざまな表現方法(ブロック線図、状態遷移図、アクティビティ図)について理解している。 ・簡単な自動販売機の動作をモデル化し、状態遷移図で表現することができる。 ・身のまわりものから図的モデルを作成する学習などに積極的に取り組み、自己評価および相互評価を行い、モデルを改善しようとしている。	○	○	○	1

2節 シミュレーション 1. シミュレーションの基礎	・シミュレーションの手順と注意点について学ぶ。	・シミュレーションの手順や注意点, シミュレーションツールについて理解している。 ・シミュレーションの手順について, 具体的な事例で説明することができる。 ・具体的な事象のモデル化やシミュレーションに対して興味・関心をもち, 意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
2. シミュレーション(確定的モデル)	・確定的モデルをシミュレーションするための手順について学ぶ。	・簡単な確定的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。 ・確定的モデルについて, 表計算ソフトウェアを用いてシミュレーションを行い, その結果から考察することができる。 ・シミュレーションで得られた結果をもとに, パラメータを変更するなど繰り返しシミュレーションを行うなどし, 分析・評価を行っている。	○	○	○	1
3. シミュレーション(確率的モデル)	・確率的モデルをシミュレーションするための手順について学ぶ。	・簡単な確率的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。 ・確率的モデルについて, 表計算ソフトウェアの乱数を用いてシミュレーションを行い, その結果から考察することができる。 ・表計算ソフトウェアやプログラミング言語を利用した確率的モデルのシミュレーション実習において, 意欲的に粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	2
3節 データの活用 1. データの収集	・データの種類と, データの活用の手順や方法について学ぶ。 ・データの尺度水準, ビッグデータとデータマイニングについて学ぶ。	・データの種類(質的データ, 量的データ)やデータの活用方法について理解している。 ・ビッグデータやデータマイニングの意味について理解している。 ・身近な数値データを尺度水準で分類し, その特徴について説明することができる。 ・身のまわりのビッグデータについて, 具体的な内容やデータ	○	○	○	2

			の収集方法などを考察することができる。 ・データマイニングの手順について説明することができる。 ・問題解決のためのデータの分析に対し、繰り返し粘り強く取り組んでいる。				
	2. データの分析	・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について学ぶ。	・散布図および箱ひげ図によるデータの分析方法について理解している。 ・表計算ソフトウェアを利用して、散布図や箱ひげ図を作成することができる。 ・身近な数値データの散布図から相関係数を求めて、データの関連性について考察することができる。 ・身近な数値データから箱ひげ図を作成し、その結果から分析・考察することができる。 ・収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い、グラフ化などをする活動に対し、意欲的に取り組んでいる。 ・分散や標準偏差をはじめ統計的な用語の概念について、具体的な数値データをもとに理解しようとしている。	○	○	○	2
3 学 期	6章 ネットワークと情報システム 1節 ネットワークの仕組み 1. ネットワークの構成とプロトコル	・ネットワークとその構成について学ぶ。 ・インターネットに接続する機器の概要について学ぶ。 ・通信規約の役割について学ぶ。	・インターネットに接続するための機器や LAN の構成について理解している。 ・家庭内の LAN の配線例をあげて、インターネットに接続されている機器の概要を説明することができる。 ・実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べるなどし、ネットワークの改善に意欲的に取り組んでいる。 ・インターネット通信の規約である TCP/IP やパケットの流れについて理解している ・インターネットのプロトコル (TCP/IP) について、各階層の役割について、電話などの例を	○	○	○	2

			あげて説明することができる。				
2. インターネットの仕組み	・IP アドレスや、ドメイン名、URL、DHCP サーバ、DNS、HTML について学ぶ。 ・電子メールについて学ぶ。 ・WWW のサービスと仕組みについて学ぶ。	・IP アドレス、ドメイン名、URL、DHCP サーバ、HTML などの意味や働きについて理解している。 ・電子メールのサービス内容と基本的な仕組みを理解している。 ・電子メールの送受信の仕組みについて、概要を説明することができる。 ・WWW のサービス内容と基本的な仕組みを理解している。 ・URL のドメイン名の箇所に記載すべき内容について、説明することができる。 ・Webページの閲覧について、概要を説明することができる。 ・インターネット活用について、個人あるいはグループで調べるなどの学習活動を行い、問題の解決に意欲的に取り組んでいる。 ・ネットワークにおけるデータの誤りを検出する技術に興味・関心を持ち、より深く理解しようとしている。	○	○	○	2	
2節 情報システムとサービス 1. さまざまな情報システム	・身のまわりの情報システムの概要について学ぶ。 ・インターネットで提供されるサービスとその活用について学ぶ。 ・GPS を使ったサービスについて学ぶ。	・身のまわりの情報システムの例やサービスの概要を理解している。 ・情報システムで受けるサービスと提供する情報の関係(トレードオフ)について理解している。 ・インターネットで活用できる情報システムの例をあげて、提供する情報と受けたサービスについて考察することができる。 ・個人もしくはグループで、身近にあるさまざまな種類の情報システムが提供するサービスについて調べるなどの学習活動に積極的に参画している。 ・GPS や GPS を使ったサービスについて調べ、情報や情報技術の活用で、便利になった点	○	○	○	1	

		と注意すべき点をまとめることができる。				
2. データの流れと情報システム	・情報システム(POS システム, トレーサビリティ)の仕組みと, データの流れについて学ぶ。	・身近な情報システムの仕組みとデータの流について理解している。 ・身近な情報システム(例えば, POS)の例をあげ, データの流れについて説明することができる。 ・個人もしくはグループで, 身近な情報システムの仕組みやデータの流について調べるなどの学習活動に積極的に参画している。	○	○	○	2
3. データベースとデータモデル	・データベースの意味, 機能, 役割について学ぶ。 ・データモデルの違いと活用例について学ぶ。	・データベースの意味と役割, リレーショナル型データベースの機能について理解している。 ・DBMS の機能について理解している。	○	○		1
3節 情報セキュリティ 1. 情報セキュリティと対策	・情報の安全を守るために, 組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。 ・情報セキュリティの3要素(機密性, 安全性, 可用性)について学ぶ。 ・情報セキュリティを確保するための対策(ファイアウォールの意味やアクセス制御など)について学ぶ。	・情報の安全を守るための情報セキュリティの意味と重要性を理解している。 ・組織が行っている情報セキュリティを確保するための対策について理解している。 ・安全に情報を送受信する仕組みの理解のもとに, 情報セキュリティに対する対策を自ら進んで行い, 改善しようとしている。 ・情報セキュリティの3要素(機密性, 安全性, 可用性)とそれぞれの脅威や対策について説明することができる。 ・ファイアウォールの意味やアクセス制御の具体例について説明できる。	○	○	○	1

	2. 暗号技術 学年末考査	・暗号化を活用した技術について学ぶ。 ・暗号化の技術とデジタル署名について学ぶ。 ・デジタル署名や認証局について学ぶ。	・暗号化を活用した技術(暗号方式, デジタル署名など)について理解している。 ・共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について, その特徴や違いについて説明することができる。 ・デジタル署名の要約文を作成し, 具体的にデジタル署名について考えることができる。 ・暗号化の方式がデジタル署名に応用されていることを認識し, デジタル署名や電子認証について, より深く理解しようとしている。	○	○	○	2 合計
							70

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科:人間と社会 科目:人間と社会

教科:人間と社会 科目:人間と社会 単位数:1単位 対象学年組:第1学年 A 組

使用教科書:「人間と社会」(東京都教育委員会)

教科 人間と社会 の目標:

【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的に現実には、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、身のまわりや地域社会に注目し、地域の経済や自然、芸能などを深く理解し、主体的に自己や社会の課題を発見し、地域社会の人との関わりの中で体験活動を通して解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的に現実には、よりよい生き方を選択することができるよう、体験活動によるレポート作りや発表活動を通して、自己と社会との関わりから課題設定、情報の取捨選択や整理分析、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地域社会に関わる体験活動に主体的・協働的に取り組むことで、集団や地域社会の中で、自分らしい在り方生き方に対する自覚を深め、課題に対する体験活動を充実させようとする態度と、その体験活動の中で互いのよさを生かし、集団や社会の一員であることを自覚し、よりよい活動の実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元:探究活動への導入 【知識及び技能】 ・他者と関わる活動において地域社会や他者の価値に触れ、他者と協働する意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会や他者の価値に触れ、正しく判断し、多面的、多角的に考察し、他者に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通して集団や地域社会に主体的に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 「地域社会の実態を理解し、自分や他者について知ろう。」 ・教材:「人間と社会」 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・他者と関わるグループ活動において地域社会や他者の価値に触れ、他者と協働して活動することができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会や他者の価値に触れ、正しく判断し、多面的、多角的に考察し、他者に説明することができる。(行動の観察、ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通して集団や地域社会に主体的に関わろうとする。(行動の観察)	○	○	○	4
	B 単元:探究活動の課題設定 【知識及び技能】 ・課題設定する活動で必要な情報の収集・整理・分析し、見通しをもった課題の設定をする。	・指導事項 「探究活動に関わって一人一テーマで見通しをもって課題の設定をしよう。」 ・教材:「人間と社会」	【知識及び技能】 ・課題設定する活動で必要な情報の収集・整理・分析し、見通しをもった課題設定ができる。(行動の観察、ワークシート)	○	○	○	4

	【思考力、判断力、表現力等】 ・話し合い活動において価値に触れ、多面的、多角的に考察し、他者に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループ活動を通して集団や主体的に地域社会を捉え、自ら課題を設定しようとする態度を養う。	・一人1台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 ・話し合い活動において価値に触れ、多面的、多角的に考察し他者に説明できる。(行動の観察、ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通して集団や主体的に地域社会を捉え、自ら課題を設定しようとする。(行動の観察、ワークシート)				
	C 単元: 地域産業と職業観 【知識及び技能】 ・地域社会の産業について調べ、職場訪問を通して地域社会への理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域産業の職場訪問を通して、訪問した職場と社会とのつながりを多面的、多角的に考察する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事前学習事後学習を通して地域社会の産業に触れ主体的に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 「キンメダイ漁、イセエビ漁に関する職場を訪問しよう。」 ・教材:「人間と社会」 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・地域社会の産業について調べ、職場訪問を通して地域社会への理解を深めることができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域産業の職場訪問を通して、訪問した職場と社会とのつながりを多面的、多角的に考察する力を身に付けることができる。(行動の観察、ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】 ・事前学習事後学習を通して地域社会の産業に触れ主体的に関わろうとする。(行動の観察)	○	○	○	4
2 学期	D 単元: 探究活動の実践 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に正対して目的意識をもち、必要な知識と技能をきちんと調べ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題を探究する活動を通して、体験したことをきちんと考察し、他者に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、自ら設定した課題への探究活動を主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「一人一テーマの探究する体験活動を実践しよう。」 ・教材:「人間と社会」 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に正対して目的意識をもち、必要な知識と方法を調べ理解することができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題を探究する活動を通して、体験したことを考察し、他者に説明することができる。(行動の観察、ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、自ら設定した課題への探究活動を主体的に取り組むことができる。(行動の観察、ワークシート)	○	○	○	15
3 学期	E 単元: 探究活動のまとめ 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、その軌跡をまとめる技能を養う。	・指導事項 「一人一テーマの探究活動のプレゼンの準備を進めよう。」 ・教材「人間と社会」 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、その軌跡をまとめる技能を養うことができる。(データ、ワークシート)	○	○	○	5

	【思考力、判断力、表現力等】 ・体験した活動をもとに、必要な情報を取捨選択し、他者に説明する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、課題に正対して探究し、その軌跡を主体的にまとめようとする態度を養う。		【思考力、判断力、表現力等】 ・体験した活動をもとに、必要な情報を取捨選択し他者に説明することができる。(データ、ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、課題に正対して探究し、その軌跡を主体的にまとめようすることができる。(行動の観察、ワークシート)				
	F 単元:探究活動の発表 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、それらに関する発表活動を通して他者にきちんと伝える技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者の発表を聞き、多面的、多角的に考察する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の発表をきちんと聞き、新しい問いや課題に気づき、主体的に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 「一人一テーマの探究活動の発表をしよう。」 ・教材「人間と社会」 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、その軌跡を、発表活動を通して他者に伝えることができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者の発表を聞き、多面的、多角的に考察することができる。(ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の発表を聞き、新しい問いや課題に気づき、主体的に関わろうとする。(行動の観察、ワークシート)	○	○	○	3
							合 計
							3
							5